平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡＢ(SeminarⅡＢ) 【栗延ゼミ】			授業コード	E002581
担当教員名	栗延　孟			科目ナンバリングコード	E21202
配当学年	2	開講期	後期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	卒業要件として必修の科目です。				
受講心得	ゼミは発表・討論を通じて学ぶ場であり，自分の考えていることを相手に正確に伝えることを意識的に行っていきます。そのためにも問題を明確化するとともに，積極的な参加を期待します。				
教科書					
参考文献及び指定図書	その都度紹介します。				
関連科目	社会福祉原論，高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，地域福祉論，社会保障論など				

授業の目的	（ゼミナールⅡA・ⅡB共通） 本講義では，PBL(Problem/Project Based Larning)を活用し，地域社会に起きている課題についてグループで「目標設定」→情報収集→課題整理→解決策立案→報告(発表)→振り返りを1サイクルとしてグループ活動を行う。 PBLを通じて，社会人基礎力における「チームで働く力」及び「前に踏み出す力」の修得を目指す。
授業の概要	ゼミナールⅡBでは，それぞれが地域課題について調査を行います。そのために，調査法についての基礎的なことを学び，実際に調査して，その解決策について検討し，発表を行い，社会人基礎力の修得を目指します。なお，調査法については，反転授業形式で行う。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第１週 ： オリエンテーション 本講義の目的および内容等ついて説明します。また，履修状況の確認を行う	予習：講義の目的等についてシラバスを確認する 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第２週 ： 調査についての倫理 調査を実施する上での倫理的配慮について，説明する。	予習：調査，研究の倫理的配慮について調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第３週 ： 調査法(平均・分散・信頼区間) 各自，担当の分析法について講義を行う。	予習：指定された範囲の内容を学習しておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第４週 ： 調査法(カイ2乗検定) 各自，担当の分析法について講義を行う。	予習：指定された範囲の内容を学習しておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第５週 ： 調査法(t検定) 各自，担当の分析法について講義を行う。	予習：指定された範囲の内容を学習しておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第　6　週 調査法(分散分析)－1	

各自，担当の分析法について講義を行う。	予習：指定された範囲の内容を学習しておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 7 週 ： 調査法（分散分析）－２ 各自，担当の分析法について講義を行う。	予習：指定された範囲の内容を学習しておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 8 週 ： 調査法（相関分析） 各自，担当の分析法について講義を行う。	予習：指定された範囲の内容を学習しておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 9 週 ： 先行研究調査 先行研究について，情報収集を行う	予習：調査を行うテーマについて考えておくこと 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第10週： 質問紙作成法 質問紙の作成法について説明する	予習：質問紙の作成法について学習しておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第11週： 質問紙作成 質問紙の作成を行う	予習：どのような質問紙を作成するか考えておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第12週： 情報収集 実際に，質問紙を送付して情報収集を行う	予習：質問紙の準備を行う 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第13週： データ分析 集まった情報のデータ分析を行う	予習：これまでの学習した調査法を復習しておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第14週： スライド作成 得られた結果をもとに，何が言えるのか考え，プレゼンの構成を検討する	予習：プレゼンのストーリーラインを考えておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第15週： プレゼン，振り返り 各自プレゼンを行い，批判的なコメントをもらう	予習：プレゼンの準備を行う 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	グループワークに積極的に参加することができる。

【知識・理解】	PBLに課題解決に必要な知識について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	グループワークにおいて，自分の考え・意見をメンバーに伝えることができる。
【思考・判断・創造】	PBLにおいて，現状分析を踏まえ，適切な解決策を提案することができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		30点		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		20点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	15点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	講義でのレポートおよび講義への参加状況をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	講義でのプレゼンテーション（PBL発表）をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。